

合同ゼミの反省と感想

小林未奈・江口凜太郎・戸谷英
長崎絢・中島佑輝・西尾拓真・渡辺実果

1.合同ゼミの準備に関する反省と感想

準備期間の反省点として強く感じたことは、時間の使い方が上手くいかなかったことです。人数が多いせいもあり、人任せになってしまいがちで作業がなかなか進みませんでした。それを踏まえてそれぞれ役割分担したのは良いものの、調査結果をまとめる際に、内容がちぐはぐになってしまい修正するのにかなりの時間を費やしました。現代人らしくメールや掲示板等をもっと活用して、逐一情報交換をしておく必要があったと思います。しかし、やる気になってからのメンバーの団結力や集中力といったら、目から鱗でした。残り僅かな時間の中で手分けして、素早く作業をこなす、まさに火事場の馬鹿力です。

2.当日の報告内容とそれに対する質疑の概要

私たちは、「つくば市の観光」をテーマとしました。つくば市観光協会へのヒアリング調査に基づき、オススメの観光地の紹介と、今後より良くしていくための明確な問題点と、それに対する解決策をメインに追及しました。全体のプレゼンの流れは以下の通りです。

1.つくば市とは？

- ①観光客数の推移
- ②つくば市の交通

2.観光

- ①筑波山
- ②研究学園都市

3.全体的の問題点と解決策

- ①筑波山の大渋滞
- ②サイエンスツアーの不満
- ③震災により減少した観光客
- ④宣伝・広報の問題

質疑に関しては、事前の下調べをしてあったので的確に答えることができたと思います。しかし、車の渋滞の緩和等、具体的な数字としてのデータが少ないと指摘を受けたので、今後改善すべき点だと感じました。

3. 合同ゼミに対する反省と感想

まず、合同ゼミ全体に関してですが、どのチームもレベルが高く、2年生の時に行った合同ゼミとは一味も二味も違い驚きました。そして、原稿を読まずにプレゼンを行っていたのが私たちゼミだけでした。これは、聞き手の顔を見て反応をうかがい、身振り手振りで興味を引くことができるので非常に有効だと思います。苦勞してプレゼン内容を頭に叩き込んだ甲斐がありました。

個人的な感想としては、初めてリーダーという立場になり、人をまとめることの大変さを痛感しました。常に皆より先に行動し、調査のため幾度も電話し、指示ひとつ出すにも一苦勞でした。しかし、それだけ終わった後の達成感も大きく、自身の成長にも繋がったので、やって良かったと心から思いました。結果は、準優勝を頂き嬉しいのと悔しいのと半々ですが、その分の反省点や課題がはっきりと分かったので、今後に生かし、プレゼンの質を向上させていきたいと思っています。ありがとうございました。

(文責 小林未奈)